

公表	事業所における自己評価結果 児発
----	------------------

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 空					
				公表日	令和8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	3つの部屋をうまく割り当て適切なスペースを保っている。	活動スペースを考慮して支援を行うと同時に引き続き事業移転を考え物件探しを行っている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		年齢差やマンツーマン児童に対してしっかり配慮されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	各部屋の用途は分かりやすく、子ども達も把握している。 1ヶ所段差があるが、職員が声掛けをしたり注意深く見守っている。 賃貸なので制限はあるが工夫して配慮している。	段差を意識し見え方の違うお子様への配慮や、環境設定を引き続き行う。又段差の少ない物件探しを引き続き行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の清掃と環境設定を行っている。オゾン発生器を使用し、感染症対策も行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		子ども達が職員へ目的をきちんと伝えて使用できるようにルール設定している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		意見の集約、共有、改善案の話し合いを行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月1回必ず職員会議を実施。様々な意見交換を行って業務にあたっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		第三者の設定は今後視野にいれていく。事業所訪問者による気付きやご意見はきちんと受け入れ改善に努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		月1回職員会議及びOJTを実施している。各自で積極的に外部研修も受講している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		普段の様子や保護者からの希望が反映されている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		職員間でしっかりと話し合い、創意工夫を重ねていると思う。 子ども達が楽しく参加できるプログラムを組み立て、飽きないよう工夫しながら行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日朝礼を行い、情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	翌日の朝礼もしくはラインでの情報共有を行っている。	支援終了後に非常勤職員も含め全員が揃わない場合もある為、翌朝の朝礼又は当日中に共通LINEにて共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に1度保護者面談を実施し、適切な見直しを行っている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		管理者、児発管が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		併用利用している子がほとんどであり、情報共有をきちんと行ないながら保護者の望むインクルージョン推進の観点を持って支援している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		主に小学校としっかり情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1	地域の児童発達支援センターとの情報交換を通じて必要あれば助言を受けられる体制は整えている。	必要に応じて対応していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	同年代との関わりは少ないが、活動内容によって関わる機会はある。	戸外活動において、公共の施設やショッピングモール、公園など他者との関わりがある場所で過ごす経験は継続していく。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳やライン、送迎時の会話等で共有している。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1		ペアレントトレーニングと銘をうち開催はしていないが、日々保護者様からの相談に対し助言やアドバイスは行っている。
保 護 者 へ の 説 明 等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者面談などを通して行われている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		保護者面談時に実施されている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		半年に一度の保護者面談では必ず困り事はないか確認している。また、日々の送迎時なども相談していただけるよう配慮している。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		親子遠足やバザー、保護者会など保護者やきょうだい参加できる機会を設けている。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		空通信やホームページ(ブログ・フォトギャラリー)で定期的に発信している。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
非 常 時	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		地域との関わりを持てる機会を設けられている。	
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアル本を職員がいつでも確認できるようにしている。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		定期的に訓練を行っている。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		服薬が必要な児童には適切に取り扱っている。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		訓練の実施や計画の情報共有等、十分に行われている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットの報告書を作成している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止の研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		面談時に説明済み。	